



・講師の方の話を聞いて、車椅子マーカーの駐車スペースは、高齢者の方々に近い位置で歩きやすいようにするためだと思っていたが、幅が広いのは車椅子を出し入れしやすいようにということを知った。今後、コンビニなどでどんな人でも困っている人を見たら、勇気を出して声をかけたいと思った。

・しょうがいがあるけれども、しょうがいがあるけれども、しょうがいがあるけれども、しょうがいがある

ないので結構もどかしかった。両手で別のことをしなければならなくてとても難しかった。しょうがいのある方は、確かにしょうがいのない人のようにできないことが多いけれど、逆に私たちにできないようなことができて、すごいと思った。

【今後に生かしたいこと】

・今回、ほんの一部だが、しょうがいを持つ方の変容がよく理解できた。今後は、しょうがいを持った人も持っていない人も、何か困っていたら、自分ができる範囲で助けたいと思った。そして、しょうがいがあるからといって、差別をしたりすることがなくなるというと思った。

からこそのわかることもあるのだと思った。公共の場には、いろいろな人がいるので、もし、困っている人がいたら手伝いたいと強く感じた。

『二年生 職場体験習を終えて』

九月二十一日(木)に二年生が、町内二十二の事業所に協力していただき、職場体験学習をしました。各事業所へのお礼状の中からいくつか感想を抜き出しました。

【真鶴町教育委員会社会教育係】

今回の職場体験で感じたことは、夏休みが、一番大変な時期だということ。忙しいときは十時間も働くこともあり、とても忙しく大変だと思いました。

二年一組 青木 結愛

【ナーシングホーム真鶴】

今回の職場体験では、分からないことばかりで心配でしたが、皆さんに丁寧に教えていただいたおかげで



楽しく、そして安心して体験することができました。介護には、私の知らない仕事がたくさんあることに気づきました。

杉田さんが「利用者さんからの感謝の言葉を頂くことが仕事のやりがい」とおっしゃっていたことが心に残りました。実際に自分が利用者さんから感謝の言葉を頂いたときに、嬉しい気持ちになりました。

二年一組 齋藤 永里咲

【美容室ärrCH】

今回の職場体験で感じたことは、お客様が来られたときに、色々なことに気をつけて接客をされていることです。

また、お年寄りの方が階段の昇降が大変だということ、これから直すと言っていたことも心に残っています。

二年一組 青木 律



【ロッキーマリン】

体験の中で島田さんの「楽しむ」という言葉が心に残りました。今回の体験で感じたことは、自然が許してくれないことは行っていない。自然にも意見があるという意識の大切さです。

二年一組 鈴木 煌慧

『自分らしく生きる』

九月二十七日の放課後に、学校保健委員会が開催されました。テーマは「自分らしく生きる」で多様性を認め合える真中生へ」でした。

とてもナイーブな課題であり、そして大切な課題でもあるテーマに、保健委員会が前向きに取り組んでくれました。男性、女性ではなく、ひとりの人間として認め合いながら生活をすることを再確認させられました。感想などは次号に載せさせていただきます。

